

## 筑波大学附属坂戸高等学校スクール・ポリシー

◇ 教育目標
<p><b>「Engage today. Empower tomorrow.」 (明日をつくる、今を生きる。)</b></p> <p>複雑で予測の難しい社会の変化を自分自身のこととして前向きにとらえ、自分と自分のまわりの幸せを願い、社会に生きる一人の「主人公」となって自らの可能性を最大限発揮し、多様な他者と協働することで、新しい未来の姿を構想し実現していく人材の育成を目指す。</p>
◇ スクール・ミッション (社会的役割)
<p>超スマート社会の到来によって、学校教育においても新しい価値観にもとづく資質や能力の育成が求められている。本校では、地球規模課題に対して自らの役割を認識し積極的に関わろうとする態度、幅広い視点と柔軟な思考力・判断力、他人と協働して新しい価値を創造できるコミュニケーション力を身につけた社会を牽引できる人材の育成を推進する。総合大学の附属学校であること、また総合学科であることで実現できる教育は新しい日本型学校教育のモデルとなる。本校は国立大学の附属学校として、その成果を積極的に発信していく役割を担っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>☞ 新たな世界に通用する学際的知性を求める教育の実践。</li> <li>☞ 筑波大学のリソースを活用した新たな高大連携教育の構築。</li> <li>☞ 総合学科の特色を活かしたリベラルアーツと総合的・体験的・実践的なオーセンティックな学習の展開。</li> <li>☞ ラーニングコーディネーターとしての教員の役割転換。</li> <li>☞ 自己のあり方生き方を社会とつながりのなかで考察できる学びの場の実現。</li> </ul>
◇ スクール・ポリシー (3つの方針)
① グラデュエーション・ポリシー (育成を目指す資質・能力に関する方針)
<p>本校は生徒が自身の生き方・あり方を模索し、卒業時にはその納得解を獲得することを目指して教育活動を行う。本校で育成を目指す基本的な資質・能力は卒業時に納得解にたどり着くために必要となる、以下の5項目である。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>☞ 地域社会の状況や国際社会の変化を理解するために必要な知識および学力を身に着けている。</li> <li>☞ 事象を多様な観点から実証的に捉える知識、論理的に調査や分析を行う技能を持っている。</li> <li>☞ 他者との議論などを統合しながら、情報を整理し、論理的に、かつ、わかりやすく表現できる。</li> <li>☞ 他者の特徴を理解し、自己の特徴と掛け合わせながら人間関係を形成する態度をもっている。</li> <li>☞ 自分自身の興味・関心や志向するキャリアと社会的な課題をつなげ、生涯を通じて主体的かつ継続的に社会と関わり、学習に取り組む意欲や態度を持っている</li> </ul>
② カリキュラム・ポリシー (教育課程の編成及び実施に関する方針)
<p>○教育課程は「自分の未来を思い描き、実現するための“Three step”」を基本とする。</p> <p>Step1:「どのように学び、生きていくか考えること」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>☞ 必修科目によって学んでいくための基礎的な力の定着を目指す。(必修科目43~45単位)</li> <li>☞ 海外校外学習などを通して外国語学習に対する意欲と実践的な運用力の向上を図る。</li> <li>☞ 「産業社会と人間」などの科目を通じて自分の将来について考察し、今何が必要か判断する力を養う。</li> </ul> <p>Step2:「自分で課題を見つけ、解決すること」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>☞ 選択科目ではその分野に対する興味関心を深化させ、社会と自分のつながりを意識した学びを通してシティズンシップを養う。(選択科目33~36単位)</li> <li>☞ 探究活動では他者と協働する機会を多く取り入れ、自分の意見を論理的に整理し表現できる力を養う。</li> <li>☞ 多くの国際交流の機会を通じてグローバルリーダーとしての資質・能力の向上を図る。</li> </ul> <p>Step3:「自ら学ぶ人間になること」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>☞ 「卒業研究」を進めることで、自ら学ぶことの楽しさを理解し、将来にわたって学び続ける姿勢を育てる。</li> <li>☞ 探究学習を通して生徒が自身の学びを総合化し、新たに必要な学びをデザインする力を養う。</li> <li>☞ リベラルアーツ教育を進め、地球的視野に立って行動できる態度や柔軟な思考力・判断力を育てる。</li> </ul> <p>○評価は「オーセンティック評価」を基本とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>☞ 相対的で一元的で断片的な能力にもとづく、選別、格付けではなく、生徒の学習活動全体を評価対象とし、実社会で求められる力にもとづいた評価とすること。</li> <li>☞ 特定のふるまい方や考え方を全体的に要請する圧力を排除し、生徒の可能性を最大限引き出すことのできる評価とすること。</li> </ul>
③ アドミッション・ポリシー (入学者受入れに関する方針)
<p>国籍・性別・宗教等の個人的バックグラウンドにかかわらず、本校での学びを希望する者で、次に掲げる態度を持った生徒の入学を求める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>☞ 学習意欲が高く、自主的に考え、主体的に行動できる者。</li> <li>☞ 社会の中の様々な課題に対して興味関心があり、自分のこととして考えることができる者。</li> <li>☞ 将来、国際的に活躍しようとする意欲のある者。</li> <li>☞ 自分にとって新しいことにも、積極的に挑戦しようとする者。</li> <li>☞ 様々な考え方を持っている他者と協働できる者。</li> </ul>